

### Ⅲ-4 臨床試験部会からの報告

臨床試験部会事務局

国立がん研究センター多施設臨床試験支援センター

福田治彦

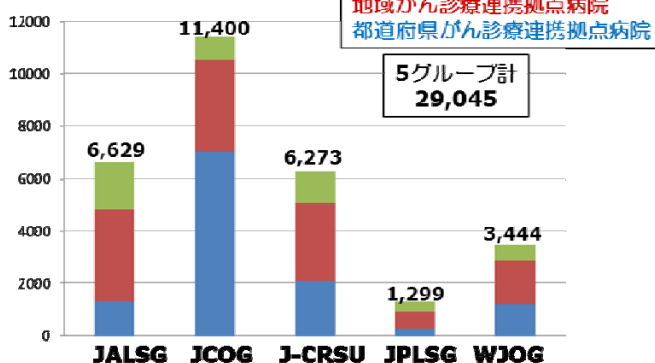
#### 1. 活動報告

- 平成 24 年度は会議は開催せず。メーリングリストを用いた情報提供・意見収集のみ行った。
- 平成 23 年度に実施した CRC 実態調査結果（昨年度の本協議会で報告。研究者主導試験を支援する CRC を有さない都道府県拠点が約半数）を厚労省がん対策推進室（現在はがん対策・健康増進課）に報告、拠点病院の CRC 雇用の事業化および指定要件への追加について要望した。
- 平成 24 年 12 月より開催されている「がん診療連携提供体制のあり方に関する検討会」にて「がん診療連携拠点病院における研究機能の付与」が議題に取り上げられ、現在、同検討会のワーキンググループにて検討中。

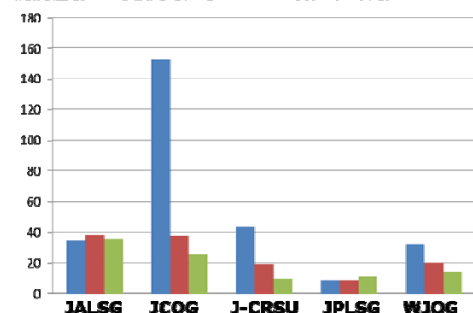
#### 2. 「がん臨床試験基盤整備事業」

- 臨床試験部会での議論を経て国立がん研究センターからがん対策・健康増進課に提案していた 2 事業、「拠点病院研究者主導臨床試験基盤整備事業」、「がん共同研究グループ整備事業」のうち、後者が「がん臨床試験基盤整備事業」として発足、平成 24 年度より 5 団体(JCOG(NPO-CORE)、WJOG、JALSG、JPLSG、J-CRSU) が各 3,000 万円/年の助成を受けた。
- 上記 5 グループの協力を得て、各グループの 5 年間（2008～2012）の医療機関別患者登録数を収集、都道府県拠点・地域拠点・拠点以外の病院種別の集計を行った（下図）。
- 医療機関あたりの患者登録数は、白血病の 2 グループ（JALSG、JPLSG）では病院種別で差はなかったが、固形がんの 3 グループ（JCOG、J-CRSU、WJOG）では拠点病院の登録数が多かった。集計結果をがん対策・健康増進課に報告し、CRC の支援が十分受けられていない現状においても、拠点病院の貢献が大きいため、拠点病院の CRC 強化を行うことで効率的に臨床試験の推進が期待できることを申し入れた。

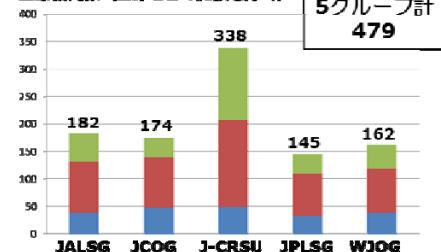
登録患者数（5年間）



病院種別1医療機関あたりの患者登録数（5年間）



医療機関数（登録ゼロの施設を除く）



以上